

# ウィークリー・マーケット・ ダイレクション (2024年10月7日～10月11日)



**Amundi**  
Investment Solutions

Trust must be earned



“FRBは労働市場が弱含みで推移していることを背景に、インフレ率の数字を重視すると見られますが、金融緩和は継続する方向と考えます。”

モニカ・ディフェンド  
アムンディ・インベストメント・インスティテュート・ヘッド

## 誰もがインフレ率を注視

9月のインフレ率は市場の予想を上回るものでしたが、データを見ると、長期的なトレンドではなさそうです。

直近の数字は、金融緩和への最終局面において米連邦準備制度理事会（FRB）が直面する課題を再確認したにすぎません。

中央銀行が利下げに動く見通しの中では、債券の資産クラスに追い風であると考えます。

予想を上回る米国インフレ率



出所：ブルームバーグのデータを基にアムンディ・インベストメント・インスティテュートが作成（2024年10月10日現在）。

米国の消費者物価指数（CPI）は市場予想を上回り、インフレが完全に終焉したと想定することの危険性が明らかになりました。特に食品とエネルギーを除いたコアCPIは+3.3%と高い伸びとなりました。しかしながら、全体的なインフレ率の傾向としては数字の上下はあるものの、徐々に低下傾向にあり、私たちの見解とも一致しています。ただし、先にも述べたように、インフレ率の変動は今後も続くと思われます。金融政策という観点では、物価上昇の抑制は着実に実現されており、今回の数字を単体で評価することはないでしょう。一方で、労働市場の悪化、さらには経済成長の悪化については注意が必要ですが、中央銀行は、今後のデータを注視しつつも利下げを継続すると考えます。

## 実行可能な投資アイデア



### グローバル債券

先進国における経済成長のスローダウンとインフレ率の低下により、欧州や英国などの地域の国債に前向きな見通しです。



### 社債市場のインカムは魅力

先進国の中央銀行が金融緩和を継続していることで、欧州や新興国市場といった地域では、質の高い債券の魅力が高まっています。

## 今週の市場動向

米国の経済指標はまちまちではあったものの、企業収益の決算シーズンを迎えるにあたり、株式市場は上昇しました。一方、米国の10年国債の利回りは上昇、再び4%を超える水準です。インフレ率の指標が強含みであったことから、FRBの利下げについて市場は一旦見直しの空気となりました。

### 株式・債券市場

資産クラスの年初来、週初来のパフォーマンス



出所：ブルームバーグ（2024年10月11日現在）  
各指標の補足情報については最終ページをご覧ください。

### 国債利回り

2年物、10年物国債利回り  
と直近1週間の変化

	2年物	10年物
米国	3.96 ▲	4.10 ▲
ドイツ	2.23 ▲	2.27 ▲
フランス	2.43 ▲	3.04 ▲
イタリア	2.69 ▲	3.56 ▲
英国	4.17 ▲	4.21 ▲
日本	0.41 ▲	0.95 ▲

出所：ブルームバーグ（2024年10月11日現在）  
直近1週間の変化を示したものを。補足情報については最終ページをご覧ください。

### コモディティ、為替、短期金利

金 (ゴールド) 米ドル/オンス	原油 米ドル/バレル	ユーロ/ 米ドル	米ドル/ 日本円	英ポンド/ 米ドル	米ドル/ 人民元	EURIBOR 3ヵ月	T-Bill 3ヵ月
2656.59	75.56	1.09	149.13	1.31	7.07	3.18	4.63
+0.1%	+1.6%	-0.3%	+0.3%	-0.4%	+0.0%		

出所：ブルームバーグ（2024年10月11日現在）直近1週間の変化を示したものを。  
補足情報については最終ページをご覧ください。

## 各地域のマクロ経済動向

### 南北アメリカ



#### 米国のインフレ率は上昇、雇用市場は弱含み

最近の米国の統計データは、消費者物価指数（CPI）が予想を上回る水準であるのに反してデysinフレの進行を示唆していると見ています。コアインフレは、前年比で+4.9%となりました。CPIに占める比重が高い住宅関連コストが、インフレ率全体の押し上げ要因となっています。一方、週次の失業保険申請件数は予想を上回りました。最近のハリケーンの影響の可能性もありますが、労働市場は軟化しています。

### 欧州



#### ユーロ圏の投資家心理は予想外に上昇

ネガティブなシグナルがいくつか示されたにも関わらず、4ヵ月連続で下落していたユーロ圏の投資家の景況感を示すセンチックス（Sentix）投資家信頼感指数は、10月は予想外に上昇しました。現状には不満を持ちつつも、期待感が改善したことによるものと見られます。短期的には景気の弱含みが示唆されていますが、金融政策の緩和に伴い、経済見通しは向こう6-12ヵ月で改善するものと考えます。

### アジア



#### インド準備銀行（RBI）は金利据え置き

予想通り、RBIは利下げを見送りました。今夏はポジティブな数字が出たものの、インドのインフレ率はRBIの今年末のターゲットレンジを上回ると見られ、前年比5%程度を旋回しています。最近の経済の軟化は、+6.8%という私たちのGDP成長率予想とも一致しています。今年の年末にかけて利下げを開始する可能性はあるものの、大幅な緩和ではないと見ています。



## 備考

ページ2

### 株式・債券市場（チャート）

出所：ブルームバーグ。各市場の指標として次の指数を使用しています。世界株=MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース）、米国株=S&P 500（米ドルベース）、欧州株=欧州 Stocks 600（ユーロベース）、日本株=TOPIX（円ベース）、新興国株=MSCI新興国（米ドルベース）、グローバル総合=ブルームバーグ・グローバル総合（米ドルベース）、欧州総合=ブルームバーグ欧州総合（ユーロベース）、新興国債券=JPモルガンEMBI グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）

すべての指数はスポット価格で計算されており、手数料および税金控除前の数値となっています。

### 国債利回り（テーブル）、コモディティ、為替、短期金利

出所：ブルームバーグ（2024年10月11日現在）。チャートではグローバル債券はブルームバーグ・グローバル総合債券インデックス、グローバル株式はMSCIワールド（両指数とも現地通貨ベース）で示されています。

\*分散投資は利益を保証するものでも、損失を防止するものでもありません。

## IMPORTANT INFORMATION

This document is solely for informational purposes.

This document does not constitute an offer to sell, a solicitation of an offer to buy, or a recommendation of any security or any other product or service. Any securities, products, or services referenced may not be registered for sale with the relevant authority in your jurisdiction and may not be regulated or supervised by any governmental or similar authority in your jurisdiction.

Any information contained in this document may only be used for your internal use, may not be reproduced or disseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices.

Furthermore, nothing in this document is intended to provide tax, legal, or investment advice.

Unless otherwise stated, all information contained in this document is from Amundi Asset Management SAS and is as of **11 October 2024**. Diversification does not guarantee a profit or protect against a loss. This document is provided on an “as is” basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The views expressed regarding market and economic trends are those of the author and not necessarily Amundi Asset Management SAS and are subject to change at any time based on market and other conditions, and there can be no assurance that countries, markets or sectors will perform as expected. These views should not be relied upon as investment advice, a security recommendation, or as an indication of trading for any Amundi product.

Investment involves risks, including market, political, liquidity and currency risks.

Furthermore, in no event shall any person involved in the production of this document have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages.

Date of first use: **11 October 2024**.

Doc ID: 3914628

Document issued by Amundi Asset Management, “société par actions simplifiée”- SAS with a capital of €1,143,615,555 - Portfolio manager regulated by the AMF under number GP04000036 - Head office: 90-93 boulevard Pasteur - 75015 Paris - France - 437 574 452 RCS Paris - [www.amundi.com](http://www.amundi.com)

Photo credit: ©iStock/Getty Images Plus

MSCI Disclaimer available [here](#)

当資料は、アムンディ・インベストメント・インスティテュートが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料を、アムンディ・ジャパン（以下、弊社）が一部翻訳したものです。当資料は、当資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料中に記載したアムンディ・インベストメント・インスティテュートの見通し、予測、予想意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。弊社の許可なく、当資料を複製または再配布することはできません。当資料中に引用した各インデックス（指数）の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。

商号等：アムンディ・ジャパン株式会社（金融商品取引業者） 関東財務局長（金商）第350号  
加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

(3940603)